

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道人形峠線改良事業	岡山県鏡野町	23,559,120	21,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	恩原高原スキー場索道改修事業	岡山県鏡野町	23,760,000	21,000,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津小学校体育館改修事業	岡山県鏡野町	99,068,400	90,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業	岡山県鏡野町	41,607,000	41,600,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鏡野中学校スクールバス整備事業	岡山県鏡野町	21,591,360	21,400,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	富簡易水道統合事業	岡山県鏡野町	153,707,760	110,000,000	
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鏡野中学校増築事業	岡山県鏡野町	113,508,000	100,000,000	
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業	岡山県鏡野町	113,185,637	100,000,000	
				589,987,277	505,000,000	

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道人形峠線改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	舗装補修工事（町道人形峠線） L=600.0m W=5.5～7.7m 路面切削工 A=3,973m ² アスファルト舗装工 A=3,973m ² 区画線工 L=1,200m			
総事業費	23,559,120	交付金充当額	21,000,000	
		うち文部科学省分	21,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	<p>町道の舗装を実施することにより、地元住民をはじめ通行する車両等の安全が確保され、地域住民の生活環境を維持することができるようになった。</p> <p>また、当該交付金事業（町道人形峠線改良事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による町道の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	株式会社 日並建設	23,559,120
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
町道人形峠線改良事業は、平成26年度からの3ヵ年計画による事業であり、平成28年度においても交付金を充当して事業を実施する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	恩原高原スキー場索道改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	索道改修工事 ・レイクサイド第1ペアリフト 主電動機0/H及び基板のPLC 減速機0/H 緊張油圧ユニット更新 直結油圧ユニット・スラスター ・レイクサイド第2ペアリフト 主電動機0/H 減速機0/H 原動滑車ゴムライナー交換 ・レイクサイド第1、2リフト 搬器座面 272組			
総事業費	23,760,000	交付金充当額	21,000,000	
		うち文部科学省分	21,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	施設を改修することにより、利用客の安全性及び利便性が確保され、観光面はもとより町民及び多くの利用者のスポーツ、エンジョイ施設として広く利用に供することができた。 また、当該交付金事業（恩原高原スキー場索道改修事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による施設の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	随意契約	安全索道 株式会社	23,760,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津小学校体育館改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町女原地内			
交付金事業の概要	【建築主体工事】 屋根改修工事（横葺き屋根カバー工法・カラーガルバリウム鋼板） 防水改修工事（シート防水改修） 外装工事（外壁吹付（軒裏共シーリング改修）） 内装工事（床フローリング研磨塗装） 便所改修工事（和式便器を洋式便器へ改修） 建具工事（トイレ・スリッパ改修・鋼製建具改修雑工事） 雑工事（ライン引き） 電気設備工事（照明器具改修・放送設備改修） 機械設備工事（換気設備改修・衛生器具取替）			
総事業費	99,068,400	交付金充当額	90,000,000	
		うち文部科学省分	90,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	児童等の学習のための空間として、また、地域の社会体育の拠点として、利用者の安全が十分に確保できることにより安心で学びやすい施設環境を形成することができた。 また、当該交付金事業（奥津小学校体育館改修事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による施設の適切な維持管理を通じ地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	中国防災工業 株式会社	99,068,400
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

Ⅱ. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町奥津川西地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		小型ロータリー除雪車1.0m級 1台 小型ロータリー除雪車1.3m級 1台 凍結防止剤散布車4t級 1台		
総事業費	41,607,000	交付金充当額		41,600,000
		うち文部科学省分		41,600,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		除雪機械の更新により、除雪業務が円滑に進み、降雪時における雪害の防止と道路交通の確保ができ、地域住民の生活道路でもあり通勤・通学道でもある道路網の機能が保たれ、安全な住民生活及び利便性を維持することができた。 また、当該交付金事業（除雪車整備事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による道路交通の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	備品の売買	指名競争入札	津山重機工業 株式会社 株式会社 バンバラ自工	41,607,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、除雪機械の更新により、除雪業務が円滑に進み、降雪時における雪害の防止と道路交通の確保ができ、地域住民の生活道路でもあり通勤・通学道でもある道路網の機能が保たれ、安全な住民生活及び利便性の維持を図る。また、当該交付金事業（除雪車整備事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による道路交通の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鏡野中学校スクールバス整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内、井坂地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		車両購入 29人乗り マイクロバス 3台 内訳 上齋原地区 → 鏡野中学校 1台 奥津地区 → 鏡野中学校 1台 富地区 → 鏡野中学校 1台		
総事業費		交付金充当額		21,400,000
		うち文部科学省分		21,400,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		スクールバスを整備することにより、通学時間を極力短縮し子どもや保護者の負担を軽減することができ、子どもたちが自宅に近い場所で乗車できるようにすることで、夕方の暗い時間帯等の安全確保を図ることができた。 また、当該交付金事業（鏡野中学校スクールバス事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）によるスクールバスの適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
契約の目的		契約の方法		契約の相手方
備品の売買		随意契約		有限会社 藤田商事
契約金額				
21,591,360				
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合には、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	富簡易水道統合事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町富西谷地内			
交付金事業の概要	配水管布設 小型消火栓 舗装復旧 配水池築造 調整池築造			
総事業費	153,707,760	交付金充当額	110,000,000	
		うち文部科学省分	110,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	<p>富地区水道施設の統合により、水量・水質とも安定した富中央浄水場の水源1箇所から富地域全体へ水道水を供給することができた。また、現在設置している塩素消毒に新たに紫外線処理を加え滅菌することで、安全な水道水を供給することにより住民の安心安全に大きく貢献できた。</p> <p>当該交付金事業（富簡易水道統合事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による水道施設の適切な維持管理を通じ地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	株式会社 山本工業他2社	153,707,760
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、富地区水道施設の統合により、水量・水質とも安定した富中央浄水場の水源1箇所から富地域全体へ水道水を供給し、現在設置している塩素消毒に新たに紫外線処理を加え滅菌し、安全な水道水を供給することにより住民の安心安全を図る。また、当該交付金事業（富簡易水道統合事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による水道施設の適切な維持管理を通じ地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鏡野中学校増築事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田地内		
交付金事業の概要		校舎増築 木造平屋建 234.35㎡ 屋根（釉薬瓦葺・一部鋼板葺） 多目的室1.2 115.93㎡ 展示コーナー 23.19㎡ 展示資料保管室 26.49㎡ WC廊下等 建築主体工事 電気設備工事（動力設備工事・電灯コンセント工事・弱電設備工事） 機械設備工事（給排水衛生設備・空調設備工事）		
総事業費	113,508,000	交付金充当額		100,000,000
		うち文部科学省分		100,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		会議室を別棟で増築したことにより、学年全体が授業に参加できるようになり、夜間に開催されるPTAの会議の際の管理が行いやすくなった。会議室の横の部屋に旧中学校の歴史や統合の経緯などについて分かる写真・書物を展示することにより、後世へ伝えることができた。また、当該交付金事業（鏡野中学校増築事業にかかる事業費の一部に交付金を活用）による中学校施設の適切な維持管理を通じ、地域社会の発展による地域住民の福祉の向上、電力施設の設置・運転への理解に寄与した。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事の請負	指名競争入札	亀川建設工業 株式会社	113,508,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町古川地内、円宗寺地内、竹田地内、下森原地内、香々美地内、真経地内、薪森原地内、女原地内、井坂地内、上齋原地内、富西谷地内			
交付金事業の概要	子どもたちが良好な環境で義務教育や幼児教育を受けることができるとともに、児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、当町の福祉の向上を図るため、小学校、中学校、幼稚園及び共同調理場の維持運営事業（職員人件費50名分）の一部に交付金を充当するもの。			
総事業費	113,185,637	交付金充当額	100,000,000	
		うち文部科学省分	100,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	小学校（8箇所）、中学校（4箇所）、幼稚園（2箇所）、共同調理場（1箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、子どもたちが良好な環境で義務教育や幼児教育を受けることができるとともに、児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、住民福祉の向上に寄与することができた。また、当該交付金事業による小学校等の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、小学校（8箇所）、中学校（4箇所）、幼稚園（2箇所）、共同調理場（1箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、子どもたちが良好な環境で義務教育や幼児教育を受けることができるとともに、児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、当町の福祉の向上を図る。また、当該交付金事業による小学校等の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8-1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業（小学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町古川地内、円宗寺地内、下森原地内、香々美地内、真経地内、女原地内、上齋原地内、富西谷地内			
交付金事業の概要	心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする小学校の良好な環境を確保し、当町の福祉の向上を図るため、小学校維持運営事業（職員人件費20名分）の一部に交付金を充当するもの。			
総事業費	42,414,342	交付金充当額	38,000,000	
		うち文部科学省分	38,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「鏡野町立小学校」（8箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする小学校の良好な環境を確保し、住民福祉の向上に寄与することができた。また、当該交付金事業による小学校の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、「鏡野町立小学校」（8箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする小学校の良好な環境を確保し、当町の福祉の向上を図る。また、当該交付金事業による小学校の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

Ⅱ. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8-2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業（中学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町竹田地内、井坂地内、上齋原地内、富西谷地内			
交付金事業の概要	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする中学校の良好な環境を確保し、当町の福祉の向上を図るため、中学校維持運営事業（職員人件費8名分）の一部に交付金を充当するもの。			
総事業費	17,037,614	交付金充当額	15,000,000	
		うち文部科学省分	15,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「鏡野町立中学校」（4箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする中学校の良好な環境を確保し、住民福祉の向上に寄与することができた。また、当該交付金事業による中学校の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、「鏡野町立中学校」（1箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする中学校の良好な環境を確保し、当町の福祉の向上を図る。また、当該交付金事業による中学校の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8-3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業（幼稚園維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町薪森原地内、上齋原地内			
交付金事業の概要	幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長し、社会に適応するよう育成することができる保育サービスの提供を確保し、当町の福祉の向上を図るため、幼稚園維持運営事業（職員人件費9名分）の一部に交付金を充当するもの。			
総事業費	25,524,164	交付金充当額	22,000,000	
		うち文部科学省分	22,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「鏡野町立幼稚園」（2箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長し、社会に適応するよう育成することができる保育サービスの提供を確保し、住民福祉の向上に寄与することができた。また、当該交付金事業による中学校の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、「鏡野町立幼稚園」（2箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、幼児を保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長し、社会に適応するよう育成することができる保育サービスの提供を確保し、当町の福祉の向上を図る。また、当該交付金事業による幼稚園の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

Ⅱ. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
8-4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福祉施設維持運営事業（共同調理場維持運営事業費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町竹田地内			
交付金事業の概要	町内の幼稚園、小学校及び中学校に在学する児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、当町の福祉の向上を図るため、共同調理場維持運営事業（職員人件費13名分）の一部に交付金を充当するもの。			
総事業費	28,209,517	交付金充当額	25,000,000	
		うち文部科学省分	25,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「鏡野町学校給食共同調理場」（1箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、町内の幼稚園、小学校及び中学校に在学する児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、住民福祉の向上に寄与することができた。また、当該交付金事業による共同調理場の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
引き続き、「鏡野町学校給食共同調理場」（1箇所）にかかる維持運営費の一部に交付金を活用することにより、町内の幼稚園、小学校及び中学校に在学する児童生徒等を対象とした給食の実施を確保し、当町の福祉の向上を図る。また、当該交付金事業による共同調理場の適切な維持管理を通じ、電力施設の設置・運転への理解の促進を図る。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。